



平成21年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」



学都・岡大発 女性研究者が育つ進化フラン

岡山大学ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室



# Newsletter

## もくじ

男女共同参画室の取り組み	1-2
岡山大学に息づく研究者たちの軌跡	3
イベントなどのお知らせ	4
男女共同参画室員からのメッセージ	4

## ★男女共同参画室の取り組み★

### ★第1回男女共同参画に関する管理職セミナーを実施しました

9月10日、本部棟第一会議室で「第1回男女共同参画に関する管理職セミナー」を実施しました。この管理職セミナーは、前東北大学理事（人事労務・キャンパス環境・男女共同参画担当）である折原守氏を講師としてお招きし、本学の管理職員を対象に行いました。

セミナーには、役員4名を含む50名もの管理職員が多忙な業務の合間を縫って参加されました。講師の折原守氏からは、東北大学におけるベビーシッター利用料補助制度など

全国から注目を浴びた育児支援を含む数々の取り組みや、大学中枢部への女性参画の現状に関する講演をしていただきました。また「ぜひ第2回の管理職セミナーも実施してください。」と励ましの言葉もいただきました。

セミナーでは沖陽子室長が本学における男女共同参画の取組状況を報告すると共に本年4月に採用されたウーマンテニュアトラック教員の活躍等を紹介いたしました。最後に千葉喬三学長から「男女共同参画に関する本学構成員の意識を変えていく必要がある。」という強い意思表示があり、セミナーは盛況のうちに締めくくられました。



### ★第1回外部資金獲得セミナーを開催しました

9月16日に、大学病院キャリアセンターと共同で外部資金獲得セミナーを実施しました。セミナーではまず、「科学研究費補助金申請書の書き方」に関する講演を、研究推進産学官連携機構の阪田祐作研究推進本部長に行っていただきました。次に、「私の研究費獲得経験」と題して、大学院医歯薬学総合研究科の池亀美華准



教授及び大守伊織助教に、研究費獲得に関する経験談に加え、研究がうまくいかなく時期も含め研究活動を継続的に進めていく上で有益なアドバイスを提供していただきました。研究費を獲得することが研究者として1人前になること、つまり「自立・自由・自信」につながることであり、池亀准教授の言葉には参加者一同が納得しました。

このセミナーは男女共同参画室が鹿田地区で実施した初めての事業となりましたが、1時間半の予定時間を超えた後も参加者の間での話は尽きず、約20名の参加者の外部資金獲得に関する関心の高さが窺われました。

# 男女共同参画室の取り組み

## ★第2回交流サロンを開催しました

7月30日、「育児と仕事の両立～どんな感じ？何が問題？」と題し、第2回交流サロン&キャリアカフェを開催しました。今回は社会文化科学研究科の松本直子准教授、奥平寛子准教授、同研究科教務学生係長の中村美紀子氏から、育児と仕事の両立をめぐるの話題提供が行われたあと、活発な意見が交わされました。

働く女性が将来を考えると、育児と仕事の両立は避けて通れない悩みといえるでしょう。参加者からは「育児休暇を長期間取りたくても、早く復帰しなければならない雰囲気があり取りにくい。」

「保育園に通っている間は安心だが、小学校入学が大きな山。学童保育はあるけど3年生まで。」など、さまざまな問題点や課題についての意見が出ました。また、今回は初めての女性サポート相談室のキャリアカフェとの合同イベントでもあり、活気の中に和やかさも漂う新たなスタイルのサロンとなりました。



## ★第2回・第3回サイエンス・トークを開催しました



8月26日、第2回おかやまサイエンス・トークがノートルダム清心学園清心女子高等学校で、9月28日、第3回おかやまサイエンス・トークが、岡山県立総社高等学校で開催されました。

WTT教員と大学院生の研究紹介のあと、フリートーキングでは活発な意見交換が行われました。



## ★第3回キャリアカフェを開催しました

9月29日、女性サポート相談室主催の第3回キャリアカフェが医学部記念会館3階の女性サポート相談室で行われ、「仕事と子育ての両立に関する課題」について話し合われました。当日はお昼休みの時間を使って開催され、持ち寄ったお弁当を食べながらリラックスした雰囲気の中、さまざまな意見が出されました。参加者からは、妊娠・出産に伴う不安を相談できる人が職場内には少ないことや、妊娠・出産に伴う休暇制度を気兼ねなしに使うための職場の理解を求める声がありました。多くの課題が出された中、共通点としてみえてきたのは、職場内の適切なコミュニケーションの不足であり、それを補うことこそが女性たちへの心強いサポートになりうるということでした。相談員からは、女性サポート相談室が妊娠・出産・職場復帰にかかわる不安に対する相談と情報の提供を行っていることが紹介されました。

女性が生き生きと子育てと仕事をするためには多くの問題がありますが、女性サポート相談室では、学内の人と人とのつながりを作りその中で互いに支えあうことが両立支援の1つと考え、こうした活動を実施しています。仕事と子育ての両立に関する問題は、女性一人の問題ではなく男女双方、また組織全体の問題です。今後は、男性職員の方にもご参加いただき、働きやすく子育てしやすい職場の雰囲気作りを一緒に考えてもらえたらと思っています。

女性サポート相談室の利用案内 Tel: 086-251-7011 E-mail: support-w@adm.okayama-u.ac.jp

## ★オープンキャンパスに参加しました

8月6日・7日、岡山大学オープンキャンパスが開催されました。今回はダイバーシティ推進本部男女共同参画室としては初めての参加でしたが、高校生および来場者とのトークも充実したものになりました。また、岡山県男女共同参画推進センター、岡山市男女共同参画推進センターとのコラボレーションで男女共同参画に関するパネル展示も行いました。

高校生への広報・意識啓発という課題に向けての新たな取り組みの中で、高校生、保護者、教員のみなさんが熱心に耳を傾けてくださいました。



# 岡山大学に息づく研究者たちの軌跡

## ★好きなことを追求して★

私は情報工学科でヒューマンコンピュータインタラクションを専門としています。簡単に言えば人間はどのようにコンピュータを使うのがよいのか、コンピュータはどのように人間に情報を提供するのがよいのか、という方法論について研究しています。例えば現在は携帯機器に内蔵されている加速度センサを使ってコンピュータを操作する方法に取り組んでいます。

そもそも、私は研究者ではなく、技術者になりたいと思っておりまして。やりたいことができなくて困っているお客様を技術で助ける、そんな仕事をしたいくて、大学卒業後企業に就職しました。ところが実際に企業の技術者になるには、私には問題があることを発見したのです。

それは、1. お金儲けに興味がない、2. 他人がしていることに興味がない、ということです。

これは、利益を出さなければならぬ企業で、常に最新の技術を追っかけなければならぬ技術者にとっては致命的な欠点だと思いました。そこで、企業を辞め、大学院に入り、基本的にはお金儲けのことを考えなくてよく、自分の興味を追求することが許される研究者になる道を選びました。

これまで苦労したことは、思うように研究成果があがらないことくらいなのですが(笑)、その分、配偶者には苦労をかけていると思います。最初から遠距離結婚だったのですが、こどもが生まれ、彼は約8ヶ月ほど育児休暇を取ってこどもの世話をしてくれました。その後再び彼は単身赴任で仕事に戻ったのですが、こどもと離れて暮らすことに耐えられなくて結局仕事を辞め、今は一緒に暮らしながら職探しをしています。その間、一度も私が仕事をするのに対して意見をいうことなく、私は自由に好きなことをすることができています。彼をはじめとして私を支えてくれている家族に感謝しています。

自然科学研究科知能ソフトウェア基盤学

笹倉万里子 助教

## ★医療教育に捧ぐ★

私は現在、主に薬学部6年制教育の中でも臨床教育に携わっていますが、これまで私が経験してきた事、特に臨床現場での失敗談などを学生さんへ伝えることを心がけています。昭和大学を卒業後、北大薬学部・東工大生命理工学部・聖マリアンナ医大医学部などで研究員・助手を13年経験してから大学病院の薬剤師を8年してきたという経緯があります。臨床研究を行うため、実際に薬物治療をしている患者さんや医師・看護師と会話をして、臨床を自分の目で知ることが薬剤師を経験した一番大きな理由でした。

現在の研究内容は様々な臨床症例に対し薬剤師がどのように関与すればよいか、その問題解決方法を解明することがテーマです。例えば、食事摂取が困難で低栄養状態にある患者の場合、消化管機能の低下やそれに伴い全身的な合併症を来しますが、そうなる前に消化管機能を試験的に調べて予防する方法を見つける研究などを行っています。

プライベートでは、子供が小さい時にはほとんど相手してあげられる時間をとれなかったのが心残りです。息子が小学生になってようやく休日と一緒に過ごす時間を作り、岡山に来る前は3年間ほど息子が入っていた少年野球チームの監督を経験しました。小学生に野球の指導をする中で、どうすれば人に物事を理解できるようにうまく伝えられるかという事を、息子を通じて教えてもらったように感じます。

私の場合、これまで幾つかの職場を経験して、多くの恩師や友人、そして理解ある家族に恵まれたことに感謝しています。今後も岡山大学の学生諸君に、人と人との繋がりが大切であることを伝え、卒業後グローバルに活躍してくれることを期待しています。

医療教育統合センター薬学教育部門

名倉弘哲 准教授



岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室ではこれからも、たくさんの事業に取り組みます。女性研究者の支援はもちろん、皆様が働きやすい環境の大学づくりをめざして頑張ります。

## ★研究支援員事業について

男女共同参画室では、平成21年度より家庭責任と仕事の両立のための環境整備の一環として、出産・育児・介護等の理由で研究時間の確保が困難な理系の常勤女性教員に対する研究活動の支援を試行的に行ってきました。平成22年8月に学長裁定により「岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室研究支援員事業要項」を制定し、研究支援員事業の本格的な運用を始めております。

この度、第1次利用者の募集を行い選考した結果、10月16日付で1名の女性教員に対して研究支援員を配置いたしました。11月1日現在、これまでの利用者を含め合計4名の女性教員がそれぞれ1～2名の研究支援員に週20時間の研究支援を受けています。平成23年度利用分の募集は平成23年1月頃になる予定です。

なお、男女共同参画室では岡山大学人材登録バンクを設置して研究支援員として女性教員を支援していただけの方を随時募集しております。関心をお持ちの方は男女共同参画室までお問い合わせ下さい。

## ★平成22年度男女共同参画推進シンポジウム

日時：2010年12月18日[土] 14:00から17:00まで  
場所：岡山大学創立五十周年記念館 2階会議室

今年度の「男女共同参画推進シンポジウム」は「ダイバーシティこそが活力を生む～女性研究者が活躍できる組織作りをめざして～」というテーマのもとに開催します。

講師としてお招きする岩切貴乃氏は、(株)東芝で海外P.Cの商品企画、マーケティング、グローバルセールス、経営企画等を経て、2004年からは人事部門に異動されています。「従業員一人ひとりが共に自分らしく持てる力を十分に発揮する」会社・組織づくりを目指して、社長直轄組織「きらめきライフ&キャリア推進室」の発足時から携わり、2007年から現職の多様性推進部部長を務めておられます。

もうお1人の講師、美馬のゆり氏のご専門は、認知科学および教育工学です。公立はこだて未来大学の設立準備にかかわり、2000年度の創立時に教授に就任されました。2003～2006年は日本科学未来館副館長も併任し、現在はNHK教育テレビ「サイエンスZERO」にもゲスト出演しておられます。

週末は各地での講演に飛び回っておられるお2人を、今回は岡山にお迎えすることになりました。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



週末は各地での講演に飛び回っておられるお2人を、今回は岡山にお迎えすることになりました。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 男女共同参画室員からのメッセージ

片岡 仁美  
(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教授)

環境整備・支援推進部門の仕事とともに、鹿田地区での行事や、医療人支援の取組との共催行事の運営に携わっています。男女共同参画室では様々な分野の室員の皆様とともに働くことで、「多様性のある組織」の良さを実感しています。

根岸 友恵  
(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授)

男女共同参画室のメンバーとして1年。私自身はもう若手や子育ての支援をいただく立場ではなくなっていますが、これまでいろいろな状況で教育研究を続けてきた中で感じたことを次世代の方の支援につなげていければと思って活動させていただいています。

篠原 陽子  
(岡山大学大学院教育学研究科 講師)

昨年12月よりメンバーになりました。次世代女性研究者育成推進部門のおかやまサイエンス・トークでは、頼もしい高校生と出会うことができました。

多様性を認め、誰もが活躍できる環境を整備するために、室員の皆さんと一緒に活動しています。

## 編集後記

岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室より、ニュースレター第2号をお届けします。これまで取り組んできた事業内容をご紹介しますと共に、今回は学内から2名の研究者に登場いただきました。お二人の軌跡を参考にしつつ、我々の取り組みが次世代研究者の活躍の手助けになりますよう、願っております。

## お問い合わせ

国立大学法人 岡山大学

ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室

〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号

TEL & FAX: 086-251-7011

E-mail: sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp

http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/diversity/danjo/

